



プロフィール

38歳。 上対馬町唐舟志出身在住。比田勝中学校時代にバレーボールを始め、長崎の南山高校へ。数多くの試合にも出場し、キャプテンも経験。在学中に父親が事故で車いすの生活になったことから卒業後は郷里へ戻り、北村真珠で10年間働いたのちマツハヤ石油株式会社対馬支店に勤務。現在、比田勝給油所の所長を務める。祖母と両親、妻と3人の子どもの4世代家族。家庭でもスポーツを通して大切なことを語る熱き父親。

糸瀬さんにとつては思わぬ帰郷となったわけですが、自分の夢から方向転換して次へ踏み出す力になったものは？

それはもう家族の力ですよ。おやじは現役バリバリの漁師だったんで、おやじが怪我してこの家庭ももうダメやなと言われるのも癪に障るし、それで社会人になっても燃えてるといふのはありますね。今でもそうですけど、やっぱり負けられないというハングリーな気持ちがあります。

何をするにもチャレンジして常に上を目指すというのが努力の源になると思うんですよ。自分はここまでだと決めてしまつたら終わりじゃないですか。じゃなくて、まだまだ行けるっていうそんなスタンスですね、いつも。

高校はバレーボールの強い学校でしたから、県下から強いメンバーが集まってくる。相手を蹴落としてでも上に行かないとスポーツの世界はトップにならない。自分是对馬から来てるし人以上に頑張らないとレギュラーにもなれない。良い経験をさせてもらったと思いますね。

すぐはつらつとされているんですが、サービスマンとしてお客様と日々接する時に心掛けていらつしやることは？

やっぱり「元気」ですよ。元気な人のところには元気な人が集まるし、そこに交わつたら自然とみんな元気になるんですよ。だからお客様にも元気を与えられるお店、人間になりたいて思っています。部下にも日ごろからそう話します。お客様と接する時、相手が笑顔でなくてもこちらが笑顔で話したら絶対相手も笑顔になる。元気を与えるという意味でも笑顔は常日頃気にしています。

きつとお仕事以外でもその天性の元気を周囲に振りまいていらつしやるんでしょうね。

対馬弁でいう「でべそ」です。から（笑）何にでも関わって顔を出します。子どもが3人いるんですが、一番下の子の保育所の副会長や、長男のバレーの後援会長をさせてもらって、部外者でコーチもさせてもらってるんです。スポーツを通して、礼儀や心配りができる人間であれと教えます。

これからしたいこと、目標や夢などありますか？

対馬をアピールできるような、1日1組限定の民宿がしたいんです。漁業や椎茸栽培を体験するといったプランで、対馬の最高のおもてなし料理を提供するという民宿。それと、自由な老後の生活を求める人たちが集まって、自給自足で必要な分だけ獲って食べる、悠々自適に住める場所を作りたいなあと。グループで互いに助け合つて生活できるような、村ができるんじゃないかなと思うんですよ。

基本にはやっぱり故郷の唐舟志地区があると思うんです。今はサラリーマン家庭が多くなつて次第にながりが薄れてきているから、手が足りない家にはみんなが手伝つて、それぞれを助け合つて生活していたあの頃の横のつながりをもう一度取り戻していけたらと思うんです。

毎回、登場して下さった方に次の方をご紹介いただくこのコーナー。次回は上対馬町比田勝在住の斉藤豪さんです。お楽しみに。